



## 2023年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2022年10月27日

上場会社名 株式会社コア 上場取引所 東  
 コード番号 2359 URL <https://www.core.co.jp>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長執行役員 (氏名) 松浪 正信  
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役専務執行役員 (氏名) 横山 浩二 TEL 03-3795-5111  
 最高財務責任者  
 四半期報告書提出予定日 2022年11月10日 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無：有  
 四半期決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

### 1. 2023年3月期第2四半期の連結業績（2022年4月1日～2022年9月30日）

#### (1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年3月期第2四半期	10,724	2.7	1,171	13.6	1,209	10.2	814	9.5
2022年3月期第2四半期	10,439	11.2	1,031	45.5	1,097	44.7	744	42.5

(注) 包括利益 2023年3月期第2四半期 823百万円 ( 7.3%) 2022年3月期第2四半期 767百万円 ( 47.6%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2023年3月期第2四半期	57.15	57.10
2022年3月期第2四半期	52.38	52.18

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2023年3月期第2四半期	20,022	14,006	69.7
2022年3月期	19,962	13,616	68.0

(参考) 自己資本 2023年3月期第2四半期 13,964百万円 2022年3月期 13,578百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2022年3月期	—	—	—	35.00	35.00
2023年3月期	—	—	—	—	—
2023年3月期（予想）	—	—	—	40.00	40.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

### 3. 2023年3月期の連結業績予想（2022年4月1日～2023年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	23,000	5.5	2,400	1.4	2,500	2.0	1,700	4.8	119.32

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：有  
新規 1社（社名）、除外 1社（社名）北京核心軟件有限公司

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2023年3月期2Q	14,834,580株	2022年3月期	14,834,580株
② 期末自己株式数	2023年3月期2Q	543,150株	2022年3月期	586,412株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2023年3月期2Q	14,257,264株	2022年3月期2Q	14,206,828株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料4ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	4
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	4
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 .....	5
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	7
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間 .....	7
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間 .....	8
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書 .....	9
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	11
(継続企業の前提に関する注記) .....	11
(会計方針の変更等) .....	11
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	11
(セグメント情報等) .....	12
(収益認識関係) .....	13

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症の影響が残る中、ウィズコロナによる生活様式の変化に伴い、徐々に経済社会活動の正常化が進み、景気に持ち直しの動きがみられました。

しかしながら、ウクライナ情勢の長期化に伴う資源・エネルギー価格の上昇や中国のゼロコロナ政策による経済活動の抑制、また、各国での通貨安などから世界的なインフレが進んでおり、景気の先行きは不透明な状況となっています。

情報サービス産業においては、人手不足を背景とした企業による合理化・省力化に向けた情報化投資の動きは持ち直しており、企業収益の改善によりその傾向が続くことが期待されます。

このような状況の下、当社グループは、独創性と先端技術をもって付加価値の高いソリューションを創造し、ビジネスを推進することで顧客課題を解決し、理想の実現を共創する「ソリューションメーカー」として、高い競争力をもつソリューションの全国展開によるマーケット獲得と地域に根差した丁寧な対応による顧客からの信頼獲得の両輪により事業規模の拡大を図ってまいりました。

また、現場力の強い事業基盤を確立するため、顧客課題を分析し適切な解決策を提案・実行できる上流工程を担い、かつ高い着想力や企画構築力を持つDX人材の育成や、製品・サービスの品質・競争力強化に向けた研究開発投資等の戦略投資を行うとともに、SDGsへの取り組みなどを通じて社会貢献に寄与すべく事業の推進を行ってまいりました。

事業セグメントごとの成長戦略として、ソリューションビジネスでは、コアビジネスとして掲げるメディア、公共、医療、GNSS、IoT(AI)、エネルギー、DXインサイトの7つの事業分野において、各分野間の連携強化と規模拡大を図り、顧客にとって価値のあるソリューションを提供することで、事業の更なる発展を目指してまいりました。

SIビジネスでは、選択と集中を行い重点的に推進する6分野（車載、デジタルテクノロジー、金融、社会基盤、農業、クラウド）において、地域拠点ごとに定めた戦略をもとに顧客満足度の向上に努め、業務ノウハウを蓄積して特化技術を洗練し、各々の特長を伸ばしてまいりました。

この結果、当第2四半期連結累計期間における売上高は10,724百万円（前年同四半期比2.7%増）、営業利益は1,171百万円（同13.6%増）、経常利益は1,209百万円（同10.2%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益は814百万円（同9.5%増）となりました。

セグメント別の事業の状況は次のとおりです。

[セグメント情報に関する定性的情報等]

	売上高							
	ソリューション ビジネス		S I ビジネス		その他		計	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年3月期第2四半期	5,842	7.1	4,848	△2.1	34	6.9	10,724	2.7
2022年3月期第2四半期	5,455	26.0	4,951	△1.5	31	△6.5	10,439	11.2
(参考) 2022年3月期	11,630		10,102		65		21,798	

	営業利益							
	ソリューション ビジネス		S I ビジネス		その他		計	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年3月期第2四半期	1,044	13.3	110	15.4	16	22.2	1,171	13.6
2022年3月期第2四半期	921	43.2	95	89.3	13	△5.8	1,031	45.5
(参考) 2022年3月期	2,162		181		24		2,367	

- (注) 1 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、不動産賃貸業、売電事業及び農業事業であります。
- 2 記載金額は、百万円未満を切り捨てて表示しております。
- 3 パーセント表示は、対前年同四半期増減率を示しております。

#### <ソリューションビジネス>

コアビジネスの医療において、電子カルテを中心にソリューション売上が伸長し、公共及びI o T (A I) についても堅調な動きとなりました。また、自社ソリューションを提供する提案型ビジネスも堅調に推移し、その結果、売上高は5,842百万円(前年同四半期比7.1%増)、営業利益は1,044百万円(同13.3%増)となりました。

#### <S I ビジネス>

運輸、通信等の社会インフラ関連や半導体関連装置等のシステム開発は堅調に推移しましたが、金融分野での開発案件が縮小し、また、リソースの選択と集中により生産性が向上したことから、売上高は4,848百万円(前年同四半期比2.1%減)、営業利益は110百万円(同15.4%増)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

①資産、負債及び純資産の状況

(資産)

流動資産は、前連結会計年度末に比べ21百万円減少し、11,590百万円となりました。これは、現金及び預金が713百万円増加しましたが、受取手形、売掛金及び契約資産が859百万円減少したことなどによるものです。

固定資産は、前連結会計年度末に比べ81百万円増加し、8,432百万円となりました。これは、投資その他の資産が58百万円増加したことなどによるものです。

この結果、総資産は60百万円増加し、20,022百万円となりました。

(負債)

流動負債は、前連結会計年度末に比べ233百万円減少し、5,173百万円となりました。これは、買掛金が117百万円減少したことなどによるものです。

固定負債は、前連結会計年度末に比べ96百万円減少し、842百万円となりました。これは、長期借入金が76百万円減少したことなどによるものです。

この結果、負債合計は329百万円減少し、6,016百万円となりました。

(純資産)

純資産合計は、前連結会計年度末に比べ389百万円増加し、14,006百万円となりました。これは、配当金の支払498百万円がありましたが、親会社株主に帰属する四半期純利益が814百万円となったことなどによるものです。

②キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結累計期間における現金及び現金同等物（以下、「資金」という。）は、前連結会計年度末に比べ713百万円増加し、5,413百万円となりました。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果得られた資金は1,624百万円（前年同四半期は1,032百万円の収入）となりました。これは、税金等調整前四半期純利益が1,192百万円となり、法人税等の支払額が530百万円ありましたが、売上債権及び契約資産の減少による収入850百万円があったことなどによるものです。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果使用した資金は315百万円（前年同四半期は23百万円の収入）となりました。これは、投資有価証券の取得による支出が224百万円あったことなどによるものです。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果使用した資金は595百万円（前年同四半期は763百万円の使用）となりました。これは、長期借入金金の返済による支出が150百万円、配当金の支払が498百万円あったことなどによるものです。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2022年4月26日に公表しました通期の連結業績予想につきましては、現時点において変更はありません。

なお、業績予想は本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであります。実際の業績は、今後様々な要因によって異なる結果となる可能性があります。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2022年9月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	4,700,235	5,413,605
受取手形、売掛金及び契約資産	6,256,089	5,396,351
有価証券	—	100,000
商品及び製品	165,387	126,933
仕掛品	81,922	45,747
原材料及び貯蔵品	77,873	106,833
その他	330,941	401,347
流動資産合計	11,612,450	11,590,819
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	1,440,786	1,404,035
土地	3,705,566	3,705,566
その他(純額)	321,300	374,309
有形固定資産合計	5,467,653	5,483,911
無形固定資産		
その他	168,047	174,964
無形固定資産合計	168,047	174,964
投資その他の資産	2,714,600	2,773,199
固定資産合計	8,350,301	8,432,075
資産合計	19,962,752	20,022,895
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	1,471,136	1,353,930
短期借入金	1,559,648	1,566,272
未払法人税等	569,785	377,141
賞与引当金	870,798	836,230
受注損失引当金	31,804	18,014
製品保証引当金	3,607	4,632
その他	900,606	1,017,731
流動負債合計	5,407,387	5,173,952
固定負債		
長期借入金	403,981	327,073
リース債務	175,544	164,379
繰延税金負債	62,005	65,024
役員退職慰労引当金	181,500	181,500
退職給付に係る負債	15,976	15,976
資産除去債務	32,220	33,367
その他	67,277	55,020
固定負債合計	938,505	842,341
負債合計	6,345,892	6,016,294

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2022年9月30日)
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	440,200	440,200
資本剰余金	213,535	231,494
利益剰余金	13,257,942	13,574,015
自己株式	△618,391	△570,094
株主資本合計	13,293,286	13,675,615
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	298,071	289,228
為替換算調整勘定	△13,147	—
その他の包括利益累計額合計	284,923	289,228
新株予約権	15,157	14,498
非支配株主持分	23,493	27,259
純資産合計	13,616,859	14,006,601
負債純資産合計	19,962,752	20,022,895



(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
 (四半期連結損益計算書)  
 (第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)
売上高	10,439,508	10,724,417
売上原価	7,865,887	7,952,671
売上総利益	2,573,620	2,771,745
販売費及び一般管理費	1,542,190	1,600,172
営業利益	1,031,429	1,171,573
営業外収益		
受取利息	11,846	9,772
受取配当金	14,683	15,294
持分法による投資利益	—	670
受取賃貸料	5,947	4,596
受取保険金	—	723
補助金収入	824	—
保険解約返戻金	3,976	4,913
投資事業組合運用益	36,764	3,561
その他	9,776	8,248
営業外収益合計	83,819	47,780
営業外費用		
支払利息	5,468	5,669
賃貸収入原価	2,107	1,478
持分法による投資損失	6,238	—
その他	3,574	2,877
営業外費用合計	17,390	10,026
経常利益	1,097,859	1,209,327
特別損失		
投資有価証券評価損	—	3,665
為替換算調整勘定取崩損	—	13,147
特別損失合計	—	16,813
税金等調整前四半期純利益	1,097,859	1,192,514
法人税、住民税及び事業税	365,709	360,392
法人税等調整額	△4,572	13,080
法人税等合計	361,137	373,472
四半期純利益	736,722	819,041
非支配株主に帰属する四半期純利益又は非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	△7,493	4,283
親会社株主に帰属する四半期純利益	744,215	814,758

(四半期連結包括利益計算書)  
(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)
四半期純利益	736,722	819,041
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	16,564	△8,842
為替換算調整勘定	697	13,147
持分法適用会社に対する持分相当額	13,265	—
その他の包括利益合計	30,527	4,305
四半期包括利益	767,249	823,347
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	774,513	819,064
非支配株主に係る四半期包括利益	△7,263	4,283

## (3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益	1,097,859	1,192,514
減価償却費	129,759	111,757
株式報酬費用	32,438	37,460
賞与引当金の増減額 (△は減少)	17,448	△34,568
受注損失引当金の増減額 (△は減少)	21,293	△13,790
製品保証引当金の増減額 (△は減少)	△1,029	1,025
退職給付に係る負債の増減額 (△は減少)	△436	△1,646
投資事業組合運用損益 (△は益)	△36,764	△3,561
持分法による投資損益 (△は益)	6,238	△670
投資有価証券評価損益 (△は益)	—	3,665
為替換算調整勘定取崩損	—	13,147
受取利息及び受取配当金	△26,530	△25,066
支払利息	5,468	5,669
受取賃貸料	△5,947	△4,596
賃貸費用	2,107	1,478
保険解約返戻金	△3,976	△4,913
受取保険金	—	△723
売上債権及び契約資産の増減額 (△は増加)	200,965	850,241
棚卸資産の増減額 (△は増加)	△6,551	45,669
営業債務の増減額 (△は減少)	△23,035	△199,661
前受金の増減額 (△は減少)	70,573	214,225
未払消費税等の増減額 (△は減少)	△141,608	△43,513
その他	9,032	△15,331
<b>小計</b>	<b>1,347,305</b>	<b>2,128,812</b>
利息及び配当金の受取額	29,765	26,854
保険金の受取額	—	723
保険解約返戻金の受取額	3,976	4,913
利息の支払額	△5,468	△5,669
企業年金基金脱退による支払額	△7,028	—
法人税等の支払額又は還付額 (△は支払)	△336,456	△530,880
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,032,093	1,624,754
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
有価証券の売却による収入	—	55,000
有価証券の償還による収入	200,000	—
有形固定資産の取得による支出	△19,059	△84,400
無形固定資産の取得による支出	△48,537	△31,852
投資有価証券の取得による支出	△180,000	△224,201
投資その他の資産の増減額 (△は増加)	△5,062	△13,979
出資金の回収による収入	50	—
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の売却による支出	—	△24,754
投資不動産の賃貸による収入	5,947	3,872
投資不動産の賃貸による支出	△983	△274
投資事業組合からの分配による収入	71,172	4,767
投資活動によるキャッシュ・フロー	23,526	△315,822

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	△84,000	80,400
長期借入金の返済による支出	△224,992	△150,684
リース債務の返済による支出	△28,480	△26,015
自己株式の取得による支出	△40	△59
配当金の支払額	△425,861	△498,685
非支配株主への配当金の支払額	△456	△517
財務活動によるキャッシュ・フロー	△763,830	△595,561
現金及び現金同等物に係る換算差額	△1,534	—
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	290,255	713,370
現金及び現金同等物の期首残高	3,636,219	4,700,235
現金及び現金同等物の四半期末残高	3,926,475	5,413,605

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(会計方針の変更等)

「時価の算定に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第31号 2021年6月17日。以下「時価算定会計基準適用指針」という。)を第1四半期連結会計期間の期首から適用し、時価算定会計基準適用指針第27-2項に定める経過的な取扱いに従って、時価算定会計基準適用指針が定める新たな会計方針を将来にわたって適用することとしております。なお、四半期連結財務諸表に与える影響はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

前第2四半期連結累計期間(自2021年4月1日至2021年9月30日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			その他 (注) 1	調整額 (注) 3	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 4
	ソリューション ビジネス	S I ビジネス	計			
売上高						
外部顧客への売上高	5,455,928	4,951,612	10,407,541	31,966	—	10,439,508
セグメント間の内部売上高又は振替高	59,062	782	59,845	10,814	△70,659	—
計	5,514,990	4,952,395	10,467,386	42,781	△70,659	10,439,508
セグメント利益	921,866	95,734	1,017,601	13,828	—	1,031,429

(注) 1 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、不動産賃貸業、売電事業及び農業事業であります。

2 管理部門等の報告セグメントに帰属しない本社費用については、セグメント利益の算定上合理的な配賦基準により各報告セグメントへ配賦しております。

3 調整額は、セグメント間取引消去であります。

4 セグメント利益の合計額は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

## 2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

当第2四半期連結累計期間(自2022年4月1日至2022年9月30日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			その他 (注) 1	調整額 (注) 3	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 4
	ソリューション ビジネス	S I ビジネス	計			
売上高						
外部顧客への売上高	5,842,006	4,848,245	10,690,251	34,166	—	10,724,417
セグメント間の内部売上高又は振替高	57,621	924	58,545	11,105	△69,651	—
計	5,899,627	4,849,170	10,748,797	45,271	△69,651	10,724,417
セグメント利益	1,044,197	110,477	1,154,675	16,898	—	1,171,573

(注) 1 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、不動産賃貸業、売電事業及び農業事業であります。

2 管理部門等の報告セグメントに帰属しない本社費用については、セグメント利益の算定上合理的な配賦基準により各報告セグメントへ配賦しております。

3 調整額は、セグメント間取引消去であります。

4 セグメント利益の合計額は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

## 2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

## (収益認識関係)

顧客との契約から生じる収益を分解した情報

前第2四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年9月30日)

(単位:千円)

	報告セグメント			その他 (注)	合計
	ソリューション ビジネス	S I ビジネス	計		
一時点で移転される財	244,904	—	244,904	3,085	247,989
一定の期間にわたり移転される財	5,206,672	4,951,612	10,158,285	25,435	10,183,720
顧客との契約から生じる収益	5,451,576	4,951,612	10,403,189	28,521	10,431,710
その他の収益	4,351	—	4,351	3,445	7,797
外部顧客への売上高	5,455,928	4,951,612	10,407,541	31,966	10,439,508

(注) 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、不動産賃貸業、売電事業及び農業事業であります。

当第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)

(単位:千円)

	報告セグメント			その他 (注)	合計
	ソリューション ビジネス	S I ビジネス	計		
一時点で移転される財	277,484	—	277,484	3,250	280,735
一定の期間にわたり移転される財	5,560,289	4,848,245	10,408,534	27,669	10,436,204
顧客との契約から生じる収益	5,837,774	4,848,245	10,686,019	30,920	10,716,940
その他の収益	4,231	—	4,231	3,245	7,477
外部顧客への売上高	5,842,006	4,848,245	10,690,251	34,166	10,724,417

(注) 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、不動産賃貸業、売電事業及び農業事業であります。